

新潟米 マンスリーレポート

(令和5年1月号)

《今月の特集》

令和5年度の水田農業に係る国予算について

農林水産省は、令和5年度予算（概算決定）を公表しました。

このほかに、既に公表されていた令和4年度補正予算の内容と合わせ、水田農業関係の令和4年度からの変更点等について、以下のとおり整理しました。

(1) 飼料用米・米粉用米に関する支援の変更点について

- 飼料用米の数量払について、「ふるい上」の米の数量により単価を計算
- 産地交付金の飼料用米・米粉用米の複数年契約加算（R4：6千円/10a）は廃止

(2) 畑地化^{*1}に係る支援について

- 畑地化支援について、畑作物^{*2}の支援単価を増額
R4：10.5万円/10a → R5：14.0万円/10a
- 定着促進支援^{*3}について、高収益作物に加え、畑作物^{*2}も追加
 - ※1 農地を交付対象水田から除外する取組で、地目の変更を求めるものではありません（ただし、農地台帳等における現況地目は農業委員会において適切に判断する必要があります）
 - ※2 高収益作物以外の畑作物（大豆・麦・そば等）
 - ※3 畑地化した農地について、2万円（加工・業務用野菜等は3万円）/10a×5年間を支援

(3) 「コメ新市場開拓等促進事業」「畑作物産地形成促進事業」（旧水田リノベーション事業）について

- 米粉用米の専用品種^{*}に取り組んだ場合、9万円/10aで支援
- 旧水田リノベーション事業においては、農業経営基盤強化準備金制度の対象とならなかったが、5年度の事業は準備金として活用が可能
 - ※ 現段階で、具体的な品種名は国から示されていません

(4) その他（令和6年度からの見直し事項）

- 飼料用米の一般品種については、令和6年産～8年産にかけて段階的に支援水準を引き下げ
（多収品種については従来通りの単価）

※ 産地交付金（県設定）の支援内容は、県農業再生協議会（2月中旬開催予定）で決定後、お知らせします。

新潟米の販売状況

概況

令和4年12月末現在の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月と比べ1千トン減となっている。

令和4年12月の新潟米の相対取引価格は前年同月に比べ、新潟一般コシヒカリが60kgあたり1,006円上回り、魚沼コシヒカリが451円上回っている。

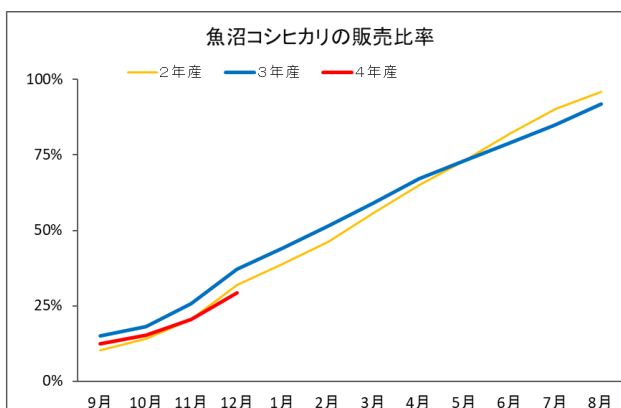
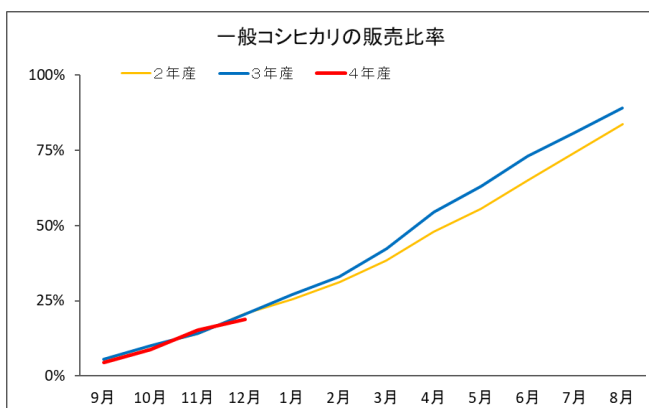
販売比率

(1) 一般コシヒカリ

12月末現在の4年産一般コシヒカリの販売比率は19%となっており、3年産比2ポイント減、2年産比2ポイント減となっている。

(2) 魚沼コシヒカリ

12月末現在の4年産魚沼コシヒカリの販売比率は29%となっており、3年産比8ポイント減、2年産比3ポイント減となっている。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	2年産	5%	10%	14%	21%	26%	31%	39%	48%	56%	65%	74%	84%
	3年産	6%	10%	14%	21%	27%	33%	42%	55%	63%	73%	81%	89%
	4年産	5%	9%	15%	19%								
魚沼 コシヒカリ	2年産	10%	14%	20%	32%	39%	46%	56%	65%	73%	82%	90%	96%
	3年産	15%	18%	26%	37%	44%	51%	59%	67%	73%	79%	85%	92%
	4年産	12%	15%	20%	29%								
佐渡 コシヒカリ	2年産	3%	14%	20%	28%	35%	44%	54%	61%	70%	77%	84%	90%
	3年産	4%	15%	20%	27%	36%	41%	50%	58%	65%	73%	80%	87%
	4年産	5%	13%	18%	23%								
岩船 コシヒカリ	2年産	5%	11%	17%	25%	33%	38%	46%	54%	59%	66%	75%	82%
	3年産	8%	11%	18%	27%	33%	40%	48%	56%	61%	70%	75%	87%
	4年産	11%	11%	17%	24%								

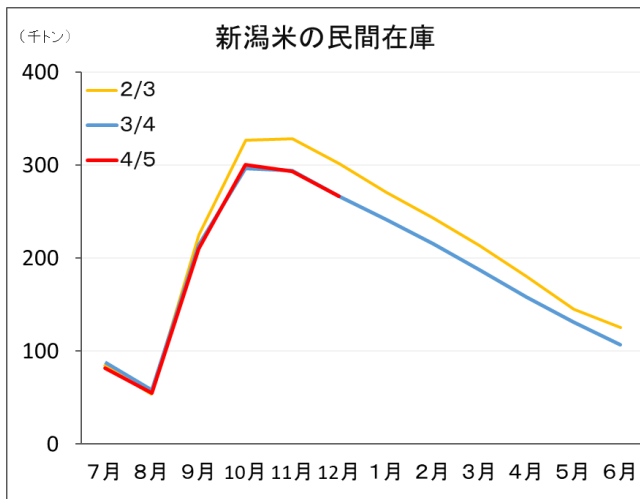
(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

在庫状況

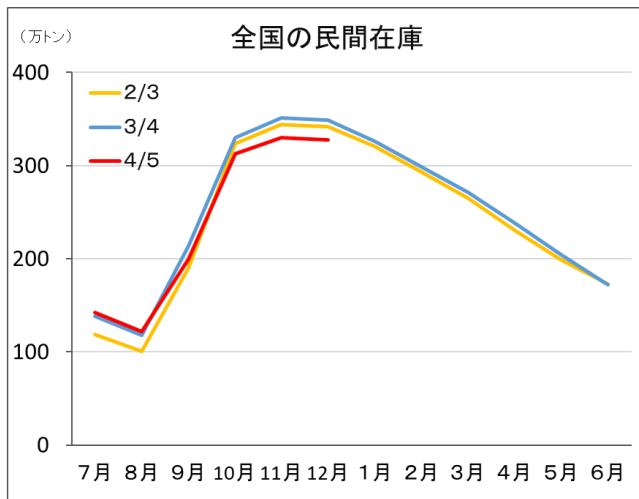
(1)新潟米

12月末現在の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から1千トン減、前々年同月から35千トン減の266千トンとなった。



(2)全国

12月末現在の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から21万トン減、前々年同月から14万トン減の328万トンとなった。



民間在庫の推移(うるち米)

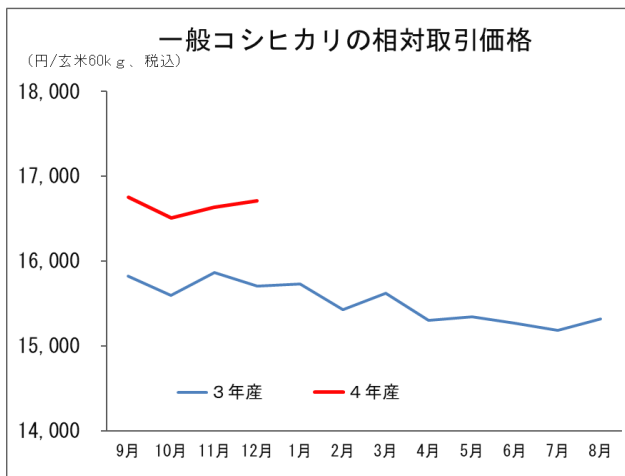
(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
新潟米	2/3	85	54	225	327	328	301	271	243	213	180	145	125	
	2年産米	0	0	189	298	304	282	256	231	203	172	139	120	
	1年古米(元年産)	84	53	36	28	24	19	15	12	10	8	6	5	
	3/4	88	58	214	296	294	267	241	216	187	158	131	107	
	3年産米	0	1	175	266	268	245	223	200	174	147	121	98	
	1年古米(2年産)	84	54	35	28	24	20	17	14	12	11	10	8	
	4/5	82	55	210	301	294	266							
	4年産米	0	1	177	274	272	250							
	1年古米(3年産)	74	48	28	23	19	16							
全国	2/3	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173	
	2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162	
	1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7	
	3/4	138	118	214	330	351	349	326	299	271	238	204	172	
	3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149	
	1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17	
	4/5	142	122	200	313	330	328							
	4年産米	1	12	113	237	264	273							
	1年古米(3年産)	124	94	71	58	49	39							

相対取引価格

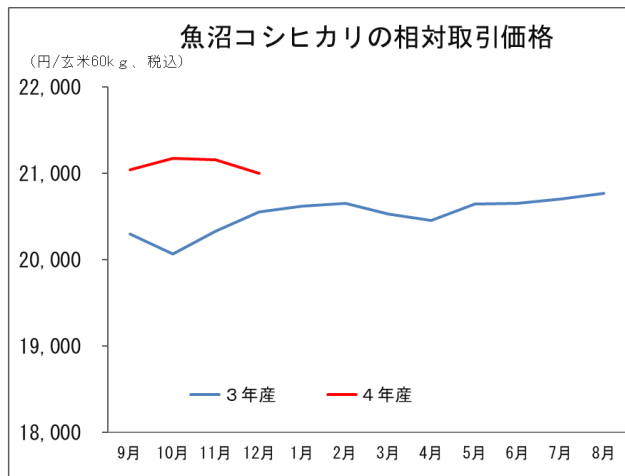
(1)一般コシヒカリ

12月の一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ1,006円上回り、16,708円(玄米60kg、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

12月の魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ451円上回り、21,006円(玄米60kg、税込)となった。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	2年産	16,871	16,713	16,776	16,761	16,828	16,794	16,666	16,605	16,612	16,176	15,776	15,729
	3年産	15,820	15,596	15,864	15,702	15,732	15,426	15,624	15,300	15,343	15,265	15,182	15,315
	4年産	16,751	16,510	16,636	16,708								
魚沼コシヒカリ	2年産	20,595	20,733	20,049	20,437	20,665	20,492	20,249	19,795	20,228	20,098	20,337	20,360
	3年産	20,301	20,071	20,334	20,555	20,620	20,655	20,535	20,460	20,644	20,659	20,704	20,770
	4年産	21,047	21,179	21,161	21,006								
佐渡コシヒカリ	2年産	17,264	17,273	17,533	17,278	17,229	17,330	17,299	17,132	17,117	16,603	14,701	16,244
	3年産	16,194	16,190	16,216	16,555	16,204	16,129	16,070	16,620	16,527	-	-	-
	4年産	17,182	17,215	17,245	17,172								
岩船コシヒカリ	2年産	17,292	17,276	17,258	17,241	17,226	17,245	17,243	17,194	17,048	16,608	15,678	14,451
	3年産	16,198	16,161	16,142	16,184	16,179	15,786	15,980	-	-	-	-	-
	4年産	17,144	16,893	17,284	16,850								

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

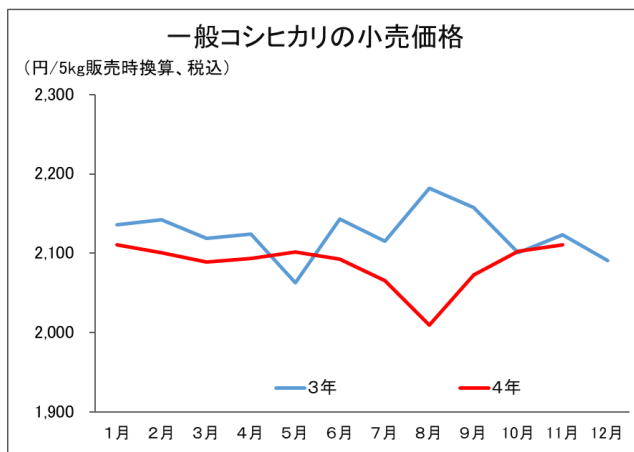
(注)「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

小売価格

(POSデータ)

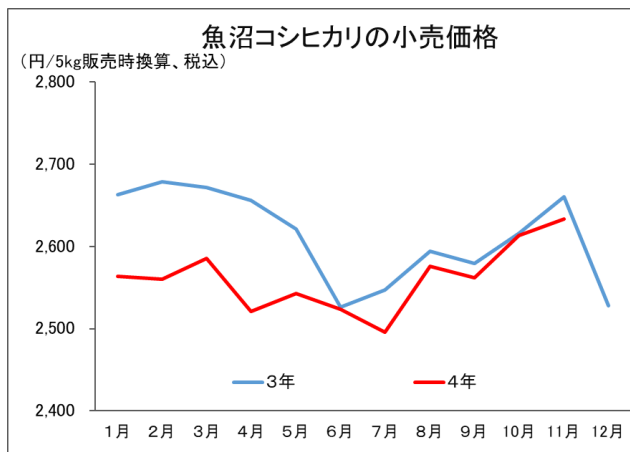
(1)一般コシヒカリ

11月の一般コシヒカリの小売価格は、前年同様に比べ12円下回り、2,111円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

11月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年同様に比べ27円下回り、2,633円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般 コシヒカリ	2年	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180	2,162	2,126
	3年	2,136	2,142	2,119	2,124	2,063	2,143	2,115	2,182	2,158	2,101	2,123	2,091
	4年	2,111	2,101	2,089	2,094	2,102	2,093	2,066	2,010	2,073	2,103	2,111	-
魚沼 コシヒカリ	2年	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656	2,665	2,580
	3年	2,663	2,679	2,672	2,656	2,621	2,526	2,547	2,594	2,579	2,616	2,660	2,528
	4年	2,564	2,560	2,585	2,521	2,543	2,524	2,496	2,576	2,562	2,613	2,633	-
岩船 コシヒカリ	2年	2,261	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐渡 コシヒカリ	2年	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262	2,249	2,278
	3年	2,274	2,267	2,285	2,280	2,254	2,242	2,329	2,289	2,313	2,147	2,194	2,139
	4年	2,196	2,150	2,145	2,149	2,206	2,133	2,201	2,114	2,149	2,168	2,192	-

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「-」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

編集後記～雪が米を美味しくする～

こんにちは！大寒波の影響でとても寒い日が続きますね…

連日の除雪作業でお疲れの方も多いのではないのでしょうか。

雪は住宅や道路にあれば「じゃま者」ですが、集めて倉庫に入れば

「雪室」として利用することができます。

雪国独特の文化である雪室は、環境にやさしい低温貯蔵方法として近年見直されています。

さらに、一定の低温状態に保つことができることから、米をはじめとした食品に温度差による

ストレスを与えず、熟成を促し食味を向上させる効果もあるとの研究結果もあるようです。

昔の知恵を活用しながら、雪とうまく付き合っていきたいものですね。



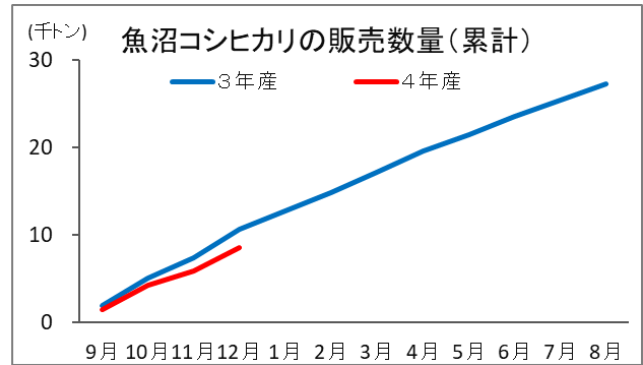
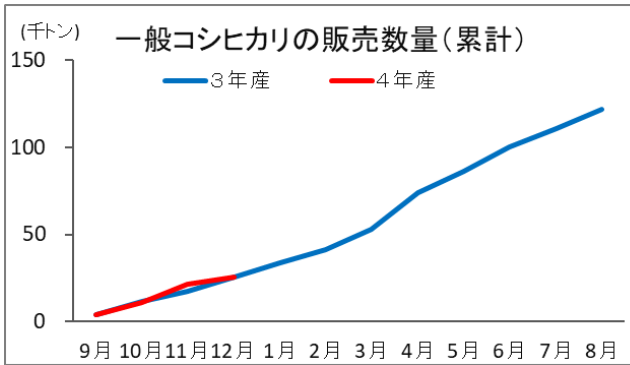
発行元：新潟県農林水産部農産園芸課

TEL：025-280-5295

URL：https://www.niigatamai.info

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

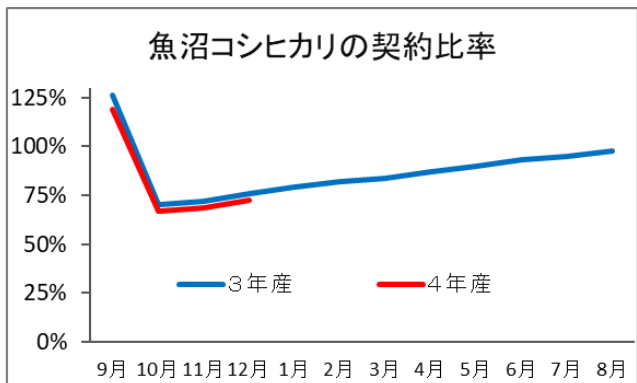
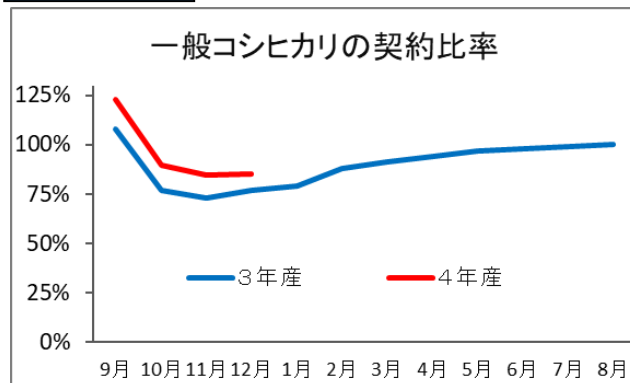
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	2年産	4.2	12.1	18.7	27.9	34.0	41.5	51.4	64.0	73.9	87.0	99.7	112.1
	3年産	4.3	11.7	17.5	25.7	33.6	41.2	52.7	74.0	86.1	100.0	110.8	121.7
	4年産	4.0	11.1	21.2	25.3								
魚沼コシヒカリ	2年産	1.5	4.5	6.9	10.8	13.1	15.6	18.8	22.0	24.8	28.0	30.8	32.7
	3年産	1.9	5.0	7.4	10.7	12.7	14.9	17.2	19.6	21.5	23.6	25.5	27.3
	4年産	1.5	4.2	5.9	8.5								
佐渡コシヒカリ	2年産	0.2	1.7	2.9	4.0	5.0	6.2	7.7	8.7	9.9	11.0	12.0	12.9
	3年産	0.2	1.7	2.7	3.7	5.0	5.7	6.9	8.0	9.0	10.1	11.1	12.1
	4年産	0.3	1.6	2.6	3.4								
岩船コシヒカリ	2年産	0.2	1.3	2.0	3.0	3.9	4.5	5.4	6.4	7.0	7.9	8.9	9.8
	3年産	0.3	1.2	2.0	3.0	3.6	4.4	5.2	6.1	6.7	7.7	8.3	9.6
	4年産	0.3	1.1	1.7	2.5								

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	2年産	101%	74%	79%	79%	81%	84%	87%	89%	91%	92%	97%	99%
	3年産	108%	77%	73%	77%	79%	88%	91%	94%	97%	98%	99%	100%
	4年産	123%	90%	85%	85%								
魚沼コシヒカリ	2年産	81%	44%	47%	54%	58%	64%	70%	79%	83%	90%	96%	98%
	3年産	126%	70%	72%	76%	79%	82%	84%	87%	90%	93%	95%	98%
	4年産	119%	67%	69%	72%								
佐渡コシヒカリ	2年産	212%	105%	91%	92%	92%	94%	96%	97%	99%	99%	99%	100%
	3年産	271%	106%	89%	91%	91%	94%	99%	99%	99%	99%	100%	100%
	4年産	227%	105%	89%	90%								
岩船コシヒカリ	2年産	235%	77%	91%	92%	89%	89%	90%	90%	92%	92%	88%	99%
	3年産	268%	90%	90%	90%	91%	91%	101%	102%	102%	102%	100%	100%
	4年産	367%	97%	96%	96%								

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。